

# 万が一の災害に備えて

## ～ 『日本海中部地震』(昭和58年5月26日) ～

### 【概要】

昭和58年5月26日午前11時59分57.5秒(気象庁発表)、秋田県能代市沖約100kmの海底を震源とするマグニチュード7.7の地震が発生し、秋田県、青森県西津軽郡深浦町、同むつ市で震度5(強震)を記録しました。

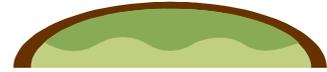
この地震による秋田県内の死者は83人で、その内訳は津波の犠牲者が79人、倒壊物の下敷きが2人、ショック死が2人であり、戦後最悪の震災被害となりました。

### 【津波からの避難が遅れた要因】

避難が遅れた要因として、

- 地震の大きさを認識していなかった
- 地震そのものの認識がなかった
- 地震後に津波が来ることを予想できなかった  
(地震発生の7分後には津波の第1波が到達しており、津波警報が発表されたのは14分後だった)
- 津波警報が発表されていてもそれを知る手段がなかった
- 逃げる場所がなかった

ことなどが挙げられました。



## ～ 津波から身を守るためには ～

- ① 大きな揺れを感じたら津波に警戒しましょう
- ② 気象庁の津波情報をテレビ・ラジオ等から入手しましょう
- ③ 津波警報が発表されたら直ちに高台に避難しましょう
- ④ 近くに高台がない場合は、付近にある丈夫で高い建物のより高い階に避難しましょう



## ～ 車を運転中に地震があったら ～

- ① できる限り安全な方法で車を道路左側に停止させましょう
- ② 停止後はカーラジオ、携帯電話等により災害情報、交通情報入手し、情報を元に周囲の状況に応じて行動しましょう
- ③ 引続き車を運転するときは、道路の損壊、信号機の滅灯、道路の障害物などに十分注意しましょう
- ④ 車を置いて避難するときは、できるだけ道路外の場所に移動しましょう
- ⑤ やむを得ず道路上に置いて避難するときは、道路の左側に寄せて駐車し、エンジンを切り、エンジンキーは付けたままで、窓を閉め、ドアロックはしないようにしましょう
- ⑥ 駐車する場所は、避難する人の通行や災害応急対策の実施の妨げとならないところを選びましょう



## ～ 日頃の備え・防災意識の高揚 ～

### 「日頃の備えが身を守る、みんなで高めよう防災意識」

#### 【家庭内の防災意識の高揚】

- 地震発生に備え、住んでいる地域の避難場所・避難ルートを確認しましょう
- 土砂崩れ、津波等の発生に伴う危険箇所を把握しましょう
- 地震等災害発生時の任務分担と避難要領を確認しましょう

#### 【環境整理】

- 家屋内及び自宅周辺を定期的に点検しましょう
- 家屋、家財道具等の補強や転倒・落下防止の措置を考えましょう
- 避難経路確保のための環境整理を行いましょう

#### 【非常持出品の準備】

- 非常持出品として、懐中電灯、携帯ラジオ、水筒、救急医療用品、貴重品、非常食品等を準備しましょう
- 避難する際の必要最小限の非常持出品を、普段から直ぐに持ち出しできる場所に準備しておきましょう